

快適な周遊、旅を満喫する箱根温泉まるとDX事業

事業概要

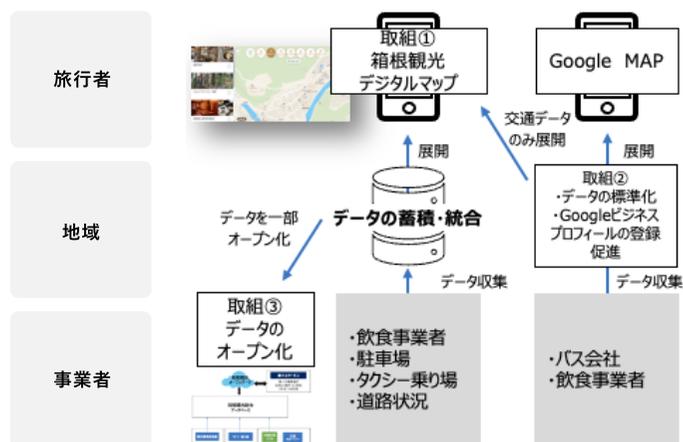
課題

箱根は17の温泉が立地し、首都圏を中心に年間2,000万人が来訪する一大温泉地であり、地域内の多彩な観光コンテンツを活用した旅行者の周遊性の向上が重要だが、情報提供の不足、交通渋滞の慢性化等の需要の分散に課題を抱えていた。

取組

本事業では、旅行者の利便性向上、消費拡大を図るために、交通機関の混雑、GTFSフォーマット対応、駐車場の満空情報、渋滞情報、飲食店混雑の可視化を行い、観光周遊ルート・マップの表示、デジタルクーポンの発行、ガイドツアーマッチング・予約、箱根観光デジタルマップを構築するとともに、BtoB向けにデータのオープン化を行い、旅行者を空いている時間帯・時期・場所へ誘導する最適な情報の提供により、周遊を促進し消費拡大に取り組んだ。

実証事業における取組イメージ



目標と成果

目標

旅マエから旅ナカでの情報収集や予約における旅行者側の利便性を高めると同時に、旅アトの満足度・推奨度向上につなげる仕組みを作り出すことで、域内周遊やリピーターの来訪を促し、観光消費を拡大させ、稼ぐ地域を創出する。

成果

箱根観光デジタルマップの活用により、旅行者の行動変容や地域内の周遊を促し、消費拡大につなげる

宿泊、交通、自治体、県警等の多岐にわたる事業者・団体等の協力を得て、観光に関わるデータを収集、統合し、箱根観光デジタルマップを構築。マップ上で、混雑状況を考慮した空いている観光ルート等の提案やデジタルクーポンの発出等を行うことで、旅行者の消費拡大や地域内の周遊を促すことできた。本取組は「オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策パッケージ」にも掲載されたほか、旅行者への認知拡大に向けてSNS、バナーの活用やメディアの活用したことで、約1万人/月の閲覧数を獲得でき、多くの旅行者の行動変容に繋がった。

項目	目標項目	目標値	実績
取組① 箱根観光デジタルマップの構築、運用	KGI マップ上での行動変容数	233回/月	271回/月
	KPI マップの利用者数	11,650人/月	8,751人/月
取組② Google Map機能の活用	Googleビジネスプロフィールの登録事業者数	191店舗	91店舗
	交通事業者のデータを標準化し、Google Map、デジタルマップ上へ展開		実施
取組③ データのオープン化	データのオープン化により、他地域・新たなサービスと連携できる環境の構築		実施

取組エリア:神奈川県足柄下郡箱根町 コンソーシアム名:箱根温泉DX推進コンソーシアム(代表事業者:箱根DMO)